

3. 北関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている やや良く なっている	一般小売店〔金物〕（経営者）	販売量の動き	・売上の数量、単価とも上向いている。ただし、中国輸出などの理由から、鉄鋼関係を始め、塩ビ関係等の価格が上がっているため、今後は懸念される。
		百貨店（店長）	販売量の動き	・この数か月売上が前年をクリアできずにいたが、3月は外商、店頭ともにクリアできる見込みである。
		スーパー（統括）	販売量の動き	・客単価は落ち込んでいるものの、来店頻度、買上点数は確実に上向いている。鳥インフルエンザの影響により、鶏肉の売上は20%減であるが、一方見直された豚肉は10%増となっている。慣れもあるのか消費者の食肉消費に対する反応は極めて冷静で、以前のような落ち込みはない。新生活対応の住居関連品は堅調であるが、入園、入学を対象とした子供衣料が苦戦している。
		コンビニ（経営者）	単価の動き	・客は今まで余分な商品を買わなかったが、最近は単価の安い菓子、ガムなどに手を出すようになってきている。
		コンビニ（店長）	お客様の様子	・4、5月に数年に一度の大きな祭があるため、客の気分が売上を押し上げているような状況である。売上内容をみると、祭関係の商品がけん引しているというわけではなく、全体的に商品が売れたことでの底上げである。客数、売上とも前年99%まで戻ってきている。
		衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・売上は3か月前より悪いものの、客単価、一品単価とも前年比110%台を確保している。
		家電量販店（店長）	単価の動き	・販売量もそれなりに上がっているが、それよりも単価の上昇が目立っている。家電では地上デジタル放送、オリンピックの関連で、薄型ディスプレイ、プラズマテレビ、液晶テレビなどがけん引している。今までもインチ数が大型の商品の売行きが顕著である。デジタル家電、デジタルカメラやパソコンなど、春の需要もあり、動きは良くなっている。
		一般レストラン（経営者）	販売量の動き	・3月は歓送迎会シーズンということもあるが、法事等の予約が週末に入り、売上は前年同時期と比べ、かなり増加している。
		旅行代理店（営業担当）	来客数の動き	・地方では景気回復の足取りが遅い。来客数は徐々に伸びているが、消費単価が伸びていないことから、売上は増加していない。
		通信会社（社員）	販売量の動き	・第三世代携帯電話は、高機能の新機種が出そろったことに伴い、通常月に比べ、移行数が大幅に増加している。また、相乗効果で新規契約数も上向き傾向になってきている。
	設計事務所（所長）	競争相手の様子	・2～3か月前の厳しい状況を抜け出し、同業者と比べても割合仕事量を確保している方である。	
	変わらない	商店街（代表者）	単価の動き	・1～3月の売上は、前年比でいくらか伸びている。量は極端に減っているが、その分単価の高い商品が売れている。
		百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・3月は気候の変動により順調に売れていた春物商品の動きが止まってしまっている。気候が安定すれば売行きはまた回復する。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・買い控えている様子は特にはないが、客は目的以外の売り込みには消極的である。
		コンビニ（店長）	お客様の様子	・キャンペーンの実施により売上は若干上向いている。客の様子は特別変わっていないので、景気はあまり変わらない。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・3月は新卒、新社会人を中心に市場が活性化する時期にもかかわらず、予想を下回り、期待していたような動きはわずかである。
乗用車販売店（従業員）		販売量の動き	・決算月にもかかわらず、販売台数は前年比95%であり、利益率は2%下がっている。	
その他専門店〔携帯電話〕（営業担当）	販売量の動き	・第三世代携帯電話の新機種の動きが良く、春商戦は前年比で10%増程度と予想以上に善戦している。		

	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・来客数は前年比で横ばい、あるいはやや減少しているので、景気は変わらない。
	スナック（経営者）	来客数の動き	・県の人事異動が直前に中止となった関係で、送別会が何件かキャンセルとなっている。イレギュラーなこと、これを除けば他は割合良いので、流れはそれなりに良い。
	観光型ホテル（スタッフ）	単価の動き	・集客数は前年より多いものの、客単価が下がっているために売上が伸びない。
	都市型ホテル（スタッフ）	お客様の様子	・謝恩会、卒業パーティ、昼の歓送迎会の時期に入り、人の動きはあるものの、金銭面は非常にシビアである。市内は空き店舗が目立ち、駐車場になりつつあるところが非常に増えており、不景気に変わりはない。
	都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・宿泊客数は一向に増えていない。各レストラン、宴会等も、営業関係が動いているにもかかわらず、特別増えたという状況ではない。
	旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・国内旅行は例年並みの販売量で横ばい傾向にある。海外は多少上昇傾向にあるものの、見通しの不安定さは変わらない。全体としては、法人旅行関係の販売低迷が続いていることが大きく響いている。
	遊園地（職員）	来客数の動き	・春休みのスタートがこの冬一番の大雪と重なってしまい、大いに影響を受けている。その後も低温の日が続いたことから、前年割れとなっている。
	ゴルフ場（支配人）	来客数の動き	・週末、土日の降雪による閉鎖により、3月の売上は減少している。平日の年度末コンペは減少傾向にあるが、土日の予約は順調である。
	競輪場（職員）	販売量の動き	・販売量、来客数とも減少傾向に歯止めがかかっていない。
	設計事務所（所長）	お客様の様子	・受注は依然として少ないものの、相談や照会が今までにたく増えており、客の個人住宅への建設意欲が感じられるようになってきている。
	住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・客は住宅購入への意欲はあるものの、土地価格の下落と景気の先行き不安から、長い場合は決断までに2～3か月を要する。
やや悪くなっている	スーパー（経営者）	それ以外	・3か月前と比べ、売上、客数の伸びが1.5%ほど下がっている。また、買上点数は前年と比べ3%減少している。
	スーパー（副店長）	お客様の様子	・3月中旬より総額表示に切り替えたが、単価が高くなったという客の声が多い。税込み価格であると説明をしているが、売上が5%程度減少している。
	乗用車販売店（販売担当）	単価の動き	・展示会を開催してもお買い得感のある本当に安い車しか売れない。以前と比べても低価格車しか動かなくなっている。
	住関連専門店（店長）	販売量の動き	・買上点数の伸びが下がっている。客は消耗品などの本当に生活に必要なものしか購入していない。
	その他専門店 [ガソリンスタンド]（営業担当）	販売量の動き	・新しく道路が開通したため、車がそちらに多く流れるようになり、当店への来客数、販売量は減少している。
	高級レストラン（店長）	来客数の動き	・例年であれば、卒業、入学、就職などで中旬ごろから人が動き始めるが、今年は20日を過ぎても動きが全くみられない。
	一般レストラン（業務担当）	販売量の動き	・卒業、謝恩会シーズンでの宴会利用件数は前年比で30%程度減少している。また、謝恩会の宴会単価は、前年が2,600円程度であったのに対し、今年は1,800円と、同様に30%程度減少している。
	都市型ホテル（スタッフ）	単価の動き	・歓送迎会の単価、件数、人数全てで減少している。特に単価の落ち込みが激しく、今まででは考えられないような金額になっている。前年と比べ2千円も下がっているグループも多数出ている。
	タクシー運転手	お客様の様子	・依然として固定客の獲得が伸び悩んでおり、歓送迎会シーズンに入った割に、夜間の需要が少ない。
	住宅販売会社（経営者）	販売量の動き	・売物件の数も少ないが、顧客ニーズも少ない。客は妥協を許さないで、成約まで至るのは良い物件のみである。

	悪く なっている	スーパー（店 長）	それ以外	・3月から消費税の総額表示に対応し始めているが、非常に不評で、単価ダウンの大きな一因となっている。客数は伸びているが、買上点数が大きく落ち込んでおり、対応前と比べて5～10%は減少している。
		コンビニ（店 長）	競争相手の様子	・100メートル圏内にあるスーパーが新装開店し、営業時間が深夜12時までとなったため、影響を受けている。特に、深夜の売上が落ち込んでいる。
		スナック（経営 者）	来客数の動き	・3月は歓送迎会の月であるが、思うように二次会が入らず、前年の5割減となっている。
企業 動向 関連	良く なっている	輸送用機械器具 製造業（総務担 当）	受注量や販売量 の動き	・自動車関係の部品が売行き好調であることが受注に反映され、受注実績は前年比約20%増となっている。前年比でこれだけ上がったのは初めてで、今までにない好調となっている。
		金属製品製造業 （経営者）	取引先の様子	・産機工場用大型コンプレッサの50、75、100キロクラスに増産計画があり、当社の受注も増加している。親工場では、無理な営業もせず受注を確保できている。工作機械やマシニングセンタ類は40%の増産体制にある。
		一般機械器具製 造業（生産管理 担当）	受注量や販売量 の動き	・建設機械関連、自動車関連の仕事が好調で、期末対応ということもあり一部の部門では24時間体制で増産に対応している。3月は過去最高の売上高を記録する見込みである。
		金融業（経営企 画担当）	取引先の様子	・精密機器など製造業を中心に設備投資が増加傾向にあり、雇用情勢もリストラはなくなり人手不足の企業がみられるなど、景気は上向いている。観光地のホテル、旅館も春休みの学生、家族連れで予約はほぼ満員の状態である。
		不動産業（管理 担当）	取引先の様子	・上層階に入居しているホテルにおいて、イベント等による団体宿泊客や、昼間のパーティ、会議などによるパーティースペースの利用が予想以上にあるので、景気はやや良くなっている。
		広告代理店（営 業担当）	受注量や販売量 の動き	・新年度スタートの販促ツールに関する受注が2割程度増加している。内税表示に伴う印刷物の新規、訂正作成のオーダーが多い。どうせ作り直すならばという意識からなのか、経費捻出が順調である。
		新聞販売店〔広 告〕（総務担 当）	取引先の様子	・折込チラシの投稿量は前年比101%と、わずかながら増加している。また、チラシサイズの大形化傾向が戻りつつある。本紙広告も順調で、前年を上回っている。
変わらない		化学工業（総務 担当）	受注量や販売量 の動き	・鉄鋼関連は回復の兆しがないが、半導体関連は良いので、相殺して変わらない。
		電気機械器具製 造業（経営者）	受注量や販売量 の動き	・景気をけん引している忙しい企業はごく一部であり、地方の零細業者の厳しい状況は依然として変わらない。材料費の値上げを販売価格に反映できないことは、経営の更なる圧迫につながる。
		電気機械器具製 造業（経営者）	受注価格や販売 価格の動き	・大企業は軒並み業績を伸ばしているが、中小零細企業にしわ寄せがきており、コストは低いまま、採算度外視の受注が続いている。
		その他製造業 〔宝石・貴金 属〕（経営者）	受注量や販売量 の動き	・前年比で販売単価は下がっているが、プラチナの高騰により、仕入れ価格は上昇している。売上は前年を上回るほどではないが、落ち込みは一段落というところである。春先になり、ジュエリーに対する関心も増えている。
		建設業（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・鋼材などの資材値上がりにより、受注が不振となり、採算は一層悪化している。
		その他サービ ス業〔放送〕（営 業担当）	受注量や販売量 の動き	・自動車、電機産業等からのコマースは変わらないが、商業、サービス業、通信業からのスポットコマースは契約期間が短くなり、受注金額が小口化している。
やや悪く なっている	悪く なっている	-	-	-
		建設業（総務担 当）	取引先の様子	・本年度分ということで11月に見積書を提出していた民間工事が、来客数の減少により、親会社の判断で実施時期が見送られ、早くて秋、最悪で来年ということになってしまっている。
		不動産業（経営 者）	受注価格や販売 価格の動き	・新規受注の価格はかなり足もとをみられており、注文も低い金額でやるようにと威圧的な感じである。

雇用 関連	良く なっている	人材派遣会社 (営業担当)	求人数の動き	・一部IT関連の製造業からの求人動向は相変わらず活況である。また、情報処理サービス会社からのSE求人も活発である。派遣会社としては、これらのニーズに対応できる人材の確保と、登録スタッフの多様化が急務である。新卒求人もあるが、新卒者は正社員を希望する傾向が強いことや企業側の要求の高さにより、マッチングは難しい。
	やや良く なっている	求人情報誌製作 会社(経営者)	求人数の動き	・求人数が徐々に伸びており、この1～2年の中では一番動きが良い。他社も含めて、求人数は増加している。
		職業安定所(職 員)	求人数の動き	・有効求人は前年比36.7%増と、17か月連続で増加している。前月比での求人数は平成15年4月から10か月連続で増加となっている。
		職業安定所(職 員)	求人数の動き	・新規求人数が前年同月比7か月連続で増加しており、有効求人倍率も平成11年4月以降で最高値となっている。
		職業安定所(職 員)	求人数の動き	・デジタル家電向けや、半導体、液晶製造装置の生産が繁忙である。請負が多数であるが、IT関連の求人が大幅に増加してきている。
		民間職業紹介機 関(経営者)	求人数の動き	・引き続き製造業が全体をけん引している。建設業における個人住宅は回復傾向にある。運輸業はドライバーが過剰な状況にある。専門職、技術職は採用基準が高く、求職者と企業のミスマッチが解消されないため、高い求人倍率が続いている。
	変わらない	求人情報誌製作 会社(経営者)	求職者数の動き	・採用数に対する求職者の応募総数は前年と変わっていない。
		求人情報誌製作 会社(経営者)	求人数の動き	・依然として人材派遣の求人広告が多いが、一般企業の正社員募集は少なく、厳しい状況は変わらない。
		学校[短期大 学](就職担 当)	求人数の動き	・この時期の欠員補充について、前年同様に事務職などは必要に応じてパート、派遣などで対応を考えている企業が散見される。
	やや悪く なっている			
悪く なっている	-	-	-	